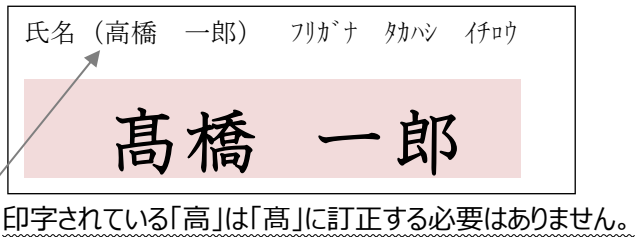
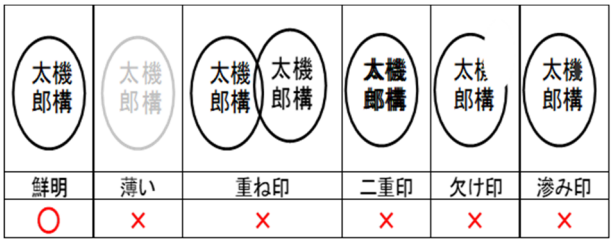
返還誓約書(人的保証)の訂正方法　例

印字内容、署名・押印の誤りがあった場合、本用紙及び貸与奨学生のしおり P.40~41 も参照のうえ、訂正してください。

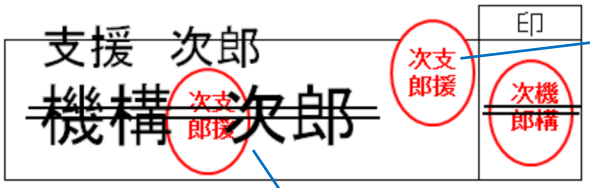
◆ 印鑑登録証明書の表記と同じ字体で署名すること　◆印鑑は鮮明かつ欠けや重なり等がないよう押印すること



※印字されている「高」は「髙」に訂正する必要はありません。



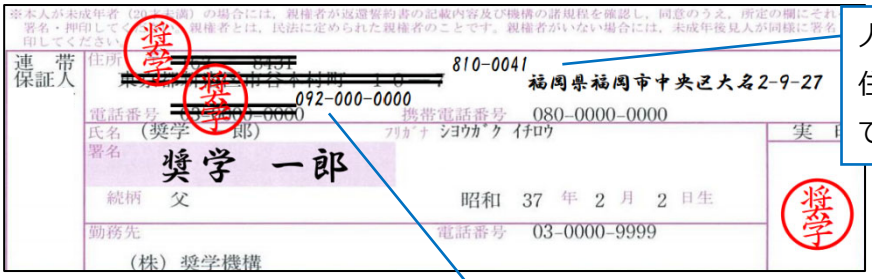
1．署名・押印の訂正



【押印の訂正】
はじめに押した印や二重線とかぶらないように、欄内に正しく押印

【署名の訂正】
・誤った部分（上記の場合は苗字）のみでなく、**フルネームすべてを二重線で削除**
・二重線のうえに押印欄と同じ印を押印
・欄内の余白にフルネームで正しく記入

2．印字内容の訂正



人的保証選択者は、連帯保証人・保証人の住所が、**印鑑登録証明書記載の住所**になっているか確認

・誤った項目**すべて**を二重線で削除し、余白に始めから正しく記入
（文字の一部分のみの誤りであっても、一から全て書き直すことになります）
・二重線のうえに押印欄と同じ印を押印
・欄内に正しく記入

印字内容を訂正する場合や、情報を追記する場合は、返還誓約書記載事項訂正届（所定の用紙）の記入・提出も必要です。なお、併用貸与者で返還誓約書が 2 部とも訂正が生じた場合は、訂正届も 2 部必要です（第一種と第二種のそれぞれの分）。